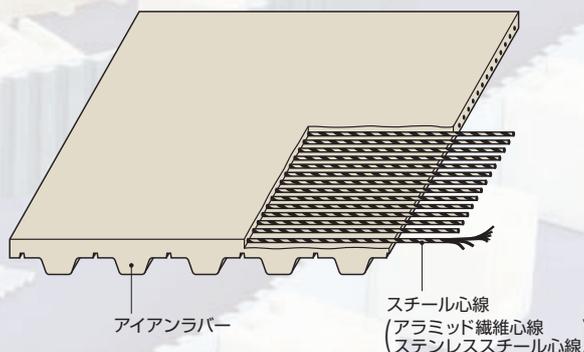


アイアンラバーベルトの構造と特徴

アイアンラバーベルトには、規格に基づく「台形歯付ベルト」と円弧歯形によりスムーズな噛み合いと位置決め精度が良い「MAベルト」と歯の断面を大きくした高トルク・高張力タイプの「ATベルト」があります。

構造

歯付ベルトの生命でもある歯ゴム及びベルト本体に、アイアンラバー（ウレタンエラストマー）を用い、高張力スチール心線（または、アラミッド繊維心線・ステンレススチール心線）を心線として一体成形しています。この二つの材料と製法により幅広い長さ範囲に適応した、歯付ベルトが形成されます。（アイアンラバーは、ウレタンエラストマーのNOK登録商標です。）



特徴

材料がアイアンラバーだから…

- 耐摩耗性に優れています。
- 機械的強度が優れています。
- 食品用途での実績が豊富です。
- 防カビ・抗菌効果のあるものがあります。
- 耐オゾン性に優れています。

加工性に優れているから…

- 研摩加工
 - 穴明け加工
 - 切削加工
- …など条件に合わせたベルトが製作できます。

Vガイド一体成形もあるから…

- プリーフランジが不要です。
- Vガイド部分の精度と信頼性が高い
- Vガイドにノッチを設け、小さなプリー径でも使用可能

プロフィール（アタッチメント）が付けられるから…

- ベルトの背面に搬送条件に合わせたプロフィール（突起アタッチメント）を融着により取り付けられます。

表面に様々な特長をもたせられるから…

- 歯面に布を一体成形することで、プリーやガイドレールとの滑りを向上できます。
- 背面に布を一体成形し、搬送物との滑りを向上できます。
- 背面には、ラフトップ・合成皮革・ウレタンスポンジなどを張付け、搬送物の保護やクッション性をもたせられます。

本カタログに記載されている使用範囲、性能データおよび数値は選定の目安となるもので、実際の使用に際しては、未知の要素、状況による制約から一般的な仕様が当てはまらないこともあります。各製品の使用にあたっては、適合性を確認した後ご使用ください。